

## 第9回 福岡空港調査PI有識者委員会

### 議事要旨

---

【開催日時】平成20年7月16日(水)10:30~12:00

【開催場所】アクロス福岡「7階(大会議室)」

【出席者】

- |                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| (1) 委員 (委員長) 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授 | 石田 東生  |
| ジャーナリスト                           | 杉尾政博   |
| 神戸大学大学院工学研究科准教授                   | 竹林幹雄   |
| 公認会計士                             | 藤田和子   |
| 弁護士                               | 山本智子   |
| (2) 福岡空港調査連絡調整会議からの出席者            |        |
| ・福岡空港調査連絡調整会議幹事                   |        |
| 国土交通省九州地方整備局港湾空港部長                | 梶原 康之  |
| 国土交通省大阪航空局空港部長                    | 傍士清志   |
| (代理出席:大阪航空局空港部次長                  | 八木千津男) |
| 福岡県企画・地域振興部理事兼空港対策局長              | 金子 英幸  |
| 福岡市総務企画局理事                        | 松本友行   |

---

【議事要旨】福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ4)の実施計画に関する審議が行われ、下記のとおり、評価及び助言が行われた。

#### 1 評価

福岡空港調査PI(ステップ4)実施計画(案)については、ステップ1、ステップ2及びステップ3の実施計画を踏襲しつつ、これまでのPIにおいて得られた市民からの意見及びPI実施主体の経験を踏まえ、市民からの開催要望に応える手法や即時的な市民相互間等の双方向のコミュニケーションに配慮した手法を盛り込むなどの工夫がなされており、PIの進捗に伴う着実な進化が認められることから、適切なものであると判断します。

#### 2 助言等

1)PIレポート等の情報提供物については、限られた時間内でPIを適正かつ効果的に実施する観点から極力早期にとりまとめるよう努めるとともに、必要十分な内容となることを念頭に置きつつわかりやすさにも配慮し作成すること。また、PIレポート等について、PIプロセスについて監視等を行う立場である本委員会に対して、早い段階で説明を行うこと。

2) P I手法の「出前説明会」については、市民からの開催曜日や時間などの要望に十分応えるよう努めること。また、「市民意見交換会」については、市民の十分な意見交換の機会を設けるため、状況に応じ複数回開催するなどの柔軟な対応を検討すること。

3) 市民からの案への賛否を含む意見については真摯に受け止め、今まで同様、実施報告書において、客観的な整理を行うこと。

4) P Iを終了する際は、ステップ1からステップ4において効果のあった点、改善してきた点などをとりまとめ、整理すること。